

米に関するマンスリーレポート

簡易版

令和元年8月号

定期的な
掲載情報①

主食用米等の需給見通し(米の基本指針 7月31日公表)

マンレポ
掲載ページ
P.1~

- ・ **平成30/令和元年**（平成30年7月から令和元年6月までの1年間）の**需要実績**は、対前年▲6万トンの**734万トン**となったよ。
- ・ **令和元年6月末民間在庫量**は、対前年▲1万トンの**189万トン**となったよ。

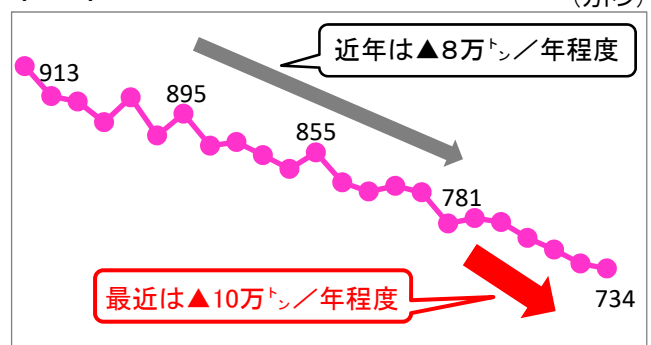


生産量 〔平成30年産 主食用米等生産量〕 733万トン ①	需要実績 734万トン
期首在庫量 〔平成30年6月末 民間在庫量〕 190万トン ②	期末在庫量 〔令和元年6月末 民間在庫量〕 189万トン ③

需要実績の算出方法

- ① 733万トン（平成30年産主食用米等生産量）
- + ② 190万トン（平成30年6月末民間在庫量）
- ③ 189万トン（令和元年6月末民間在庫量）
- 734万トン

(参考) 主食用米の需要量の推移 (万トン)



H9/10 14/15 19/20 24/25 30/R1(年)

- ・ **令和元/2年の需要見通し**は、平成30年11月の基本指針において採用した下記手法により算出し、**726万トン**と見通されるよ。



		元/2年
1人当たり消費量(推計値)	①	57.6kg
		元年
人口(推計値)	②	126,038千人
		元/2年
需要見通し	①×②	726.4万トン

【需要見通しの算出方法】

- ① 平成8/9年から平成30/令和元年までの需要実績をそれぞれ当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量を算出
- ② ①で算出した値を用いたトレンド(回帰式)で、令和元/2年(令和元年7月から令和2年6月まで)の1人当たり消費量(推計値)を算出
- ③ ②で算出した値に令和元年の人口(推計値)を乗じて算出



【令和元/2年の需給見通し】

- 令和元年6月末民間在庫量189万トンに、平成30年11月の基本指針で設定した生産量718～726万トンを加えた供給量の計は907～915万トン。この供給量から令和元/2年の需要見通し726万トンを差し引くと、令和2年6月末民間在庫量は180～188万トンと見通されるよ。

(単位:万トン)		
令和元年6月末民間在庫量	A	189
令和元年産主食用米等生産量	B	718～726
令和元/2年主食用米等供給量計	C=A+B	907～915
令和元/2年主食用米等需要量	D	726
令和2年6月末民間在庫量	E=C-D	180～188

＜令和元年産主食用米等生産量の見通し＞

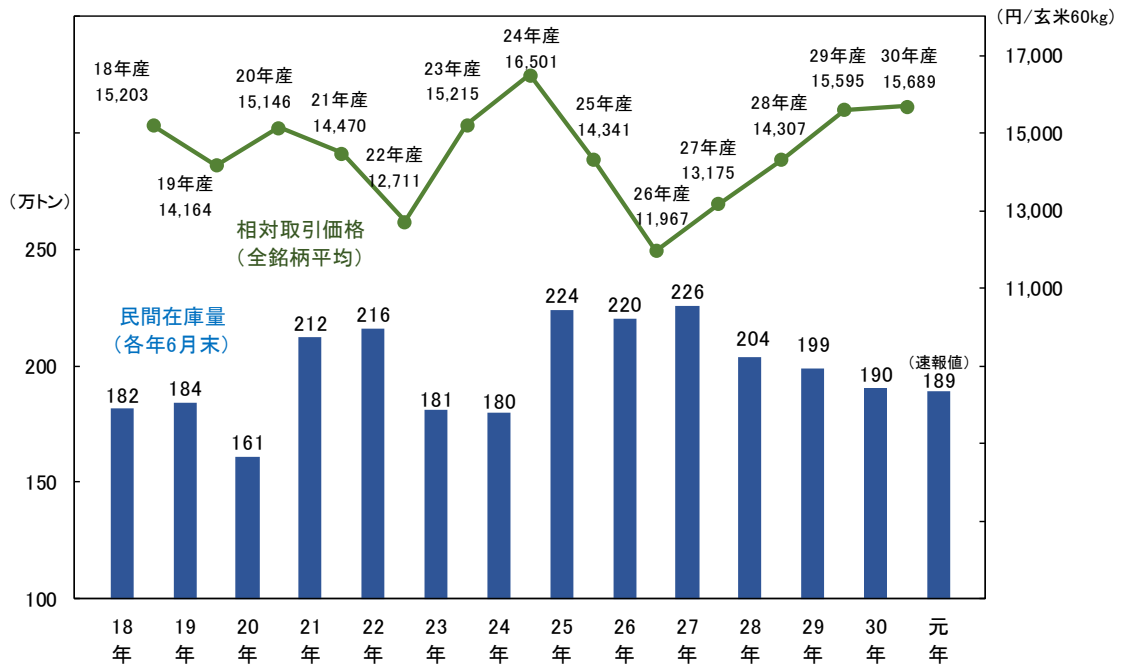
令和2年6月末民間在庫量が安定供給を確保できる水準(180万トン)となる「718万トン」から主食用米等の需要の見通しと同水準の「726万トン」までと8万トンの幅をもって設定。

(参考)平成30年産(平成30年7月基本指針)との比較



(参考) 相対取引価格と民間在庫量

- 相対取引価格は、その年々の需給状況により変動しているが、6月末における民間在庫量(生産、出荷、販売段階における在庫量)の水準もその要因の一つ。



(※) 各図表の注書き等の詳細は、「米に関するマンスリーレポート」を御参照ください。

【仕入数量の動向】

(参考) 表の見方

・前年と比べた仕入数量の変動について、下記分類に企業を区分

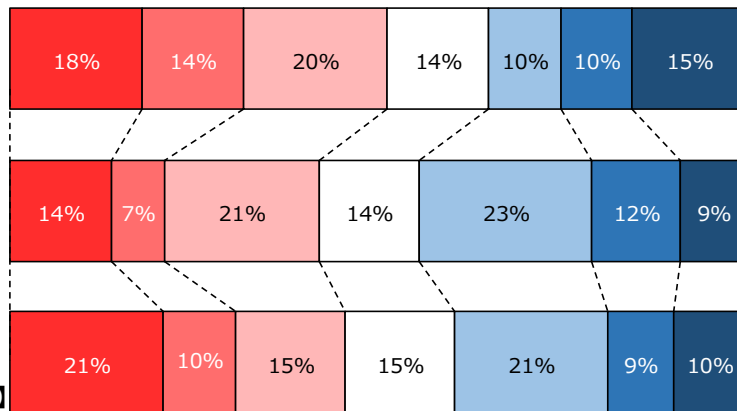
前年より 10%以上 増加	前年より 5～9% 増加	前年より 1～4% 増加	前年と 同じ	前年より 1～4% 減少	前年より 5～9% 減少	前年より 10%以上 減少
---------------------	--------------------	--------------------	-----------	--------------------	--------------------	---------------------



- ・前回調査結果と比べて、「仕入数量が増加した」との回答割合が増加したよ。
- ・回答企業全体の仕入数量は、対前年同月比100.1%となったよ。

New

調査対象期間
【平成31年4月～
令和元年6月】



回答企業全体の仕入数量は
対前年同月比100.1%。

前回調査結果
調査対象期間
【平成31年1月～3月】

回答企業全体の仕入数量は
対前年同月比99.1%。

前々回調査結果
調査対象期間
【平成30年10月～12月】

回答企業全体の仕入数量は
対前年同月比99.3%。

【仕入価格の動向】

(参考) 表の見方

・前年と比べた仕入価格の変動について、下記分類に企業を区分

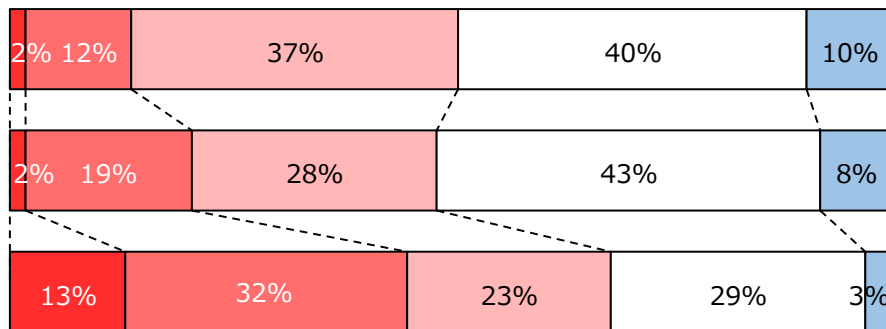
前年より 10%以上 上昇	前年より 5～9% 上昇	前年より 1～4% 上昇	前年と 同じ	前年より 下落
---------------------	--------------------	--------------------	-----------	------------



- ・前回調査結果と比べて、「1～4%上昇」との回答割合が増加し、一方「5～9%上昇」との回答割合が減少したよ。

New

調査対象期間
【平成31年4月】



前回調査結果
調査対象期間
【平成31年1月】

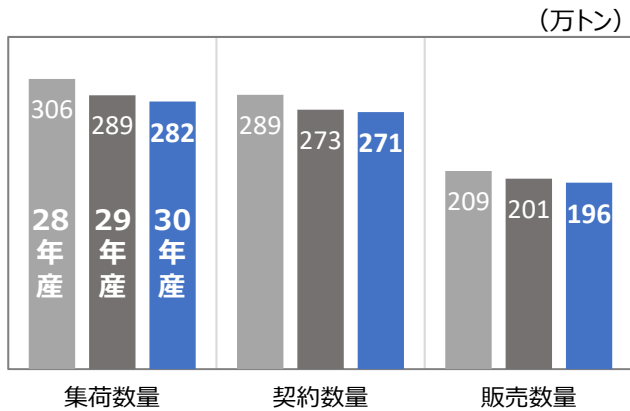
前々回調査結果
調査対象期間
【平成30年10月】

(※) 各図の注書き等の詳細は、「米に関するマンスリーレポート」を御参照ください。

定期的な掲載情報（ダイジェスト版）

1 【契約・販売状況 P.5~】

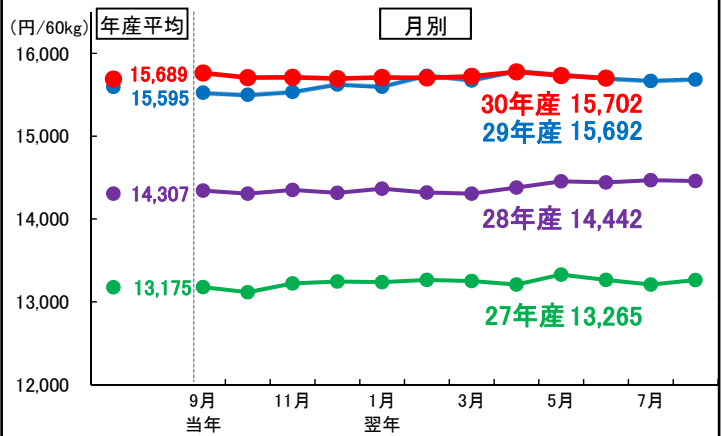
- 平成30年産の契約・販売状況は、対前年同月で集荷▲6.7万ト、契約▲2.6万ト、販売▲4.2万ト



注 いずれの年産も生産年の翌年6月末時点の数量（30年産は速報値）。

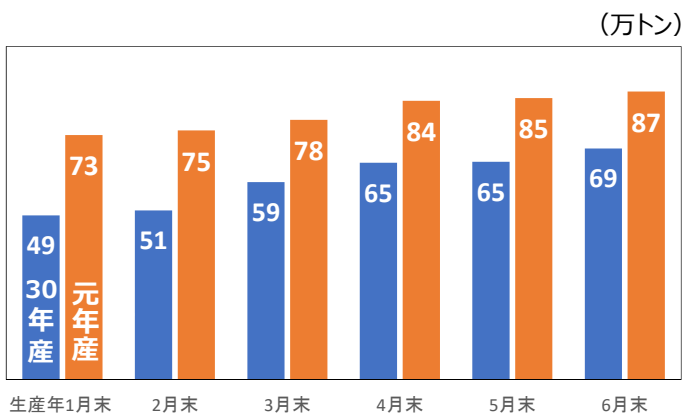
4 【相対取引価格 P.26~】

- 元年6月の相対取引価格は、全銘柄平均15,702円、出回りからの年産平均価格は、前年産+94円の15,689円



2 【事前契約数量 P.9~】

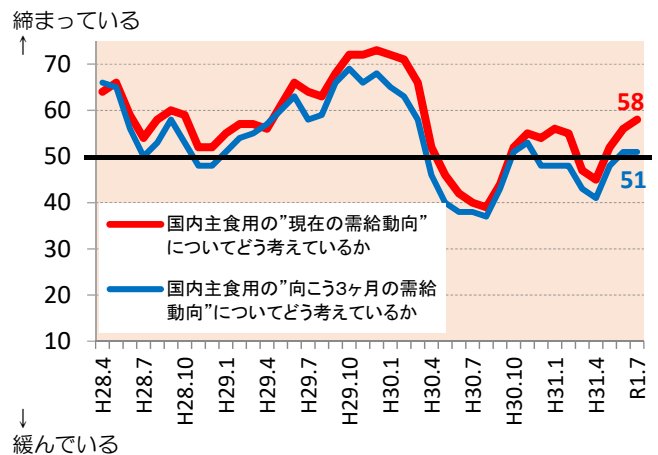
- 令和元年産の事前契約数量は、対前年同月差+17万トの87万ト



注 いずれの年産も元年6月末時点の速報値。

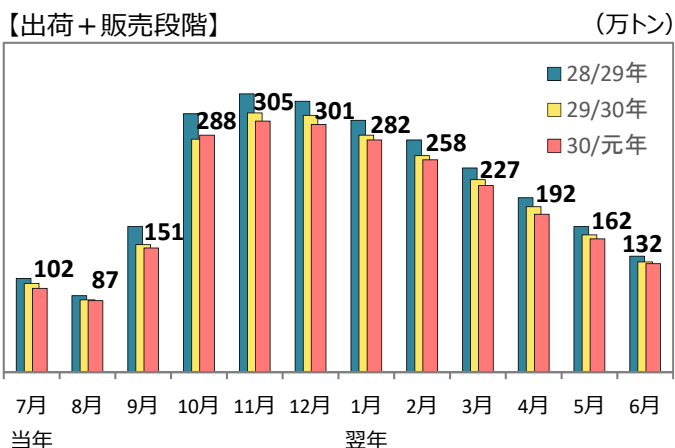
5 【DI調査 P.34~】

- 令和元年7月分の主食用米の需給動向は、現状判断D I 58（前月からの増減+2）
見通し判断D I 51（前月からの増減±0）



3 【民間在庫の推移 P.15~】

- 元年6月末の出荷及び販売段階における在庫は、対前年同月差▲2万トンの132万ト



6 【小売価格の推移（POSデータ） P.63】

- 元年6月の小売価格（平均価格）は、対前月差▲5円、対前年同月差▲37円の2,006円

